

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和07年09月11日

計画の名称	南九州地域における産業・物流活性化計画													
計画の期間	平成29年度 ～ 令和03年度（5年間）											重点配分対象の該当		
交付対象	宮崎県													
計画の目標	本地域（西諸県・北薩始良地域）においては、宮崎フリーウェイ工業団地、木材原木市場、鹿児島臨空団地等の南九州の物流拠点施設を有しており、周辺高速道路IC利用の陸上ルート、志布志港を利用する海上ルート等を活用し、海外への木材等の輸出並びに農畜産物の輸入等、1次産業を中心とした経済発展に大きく寄与している。このポテンシャルを生かすため、本地域における拠点施設と広域的な物流結節点（港湾・高速道路IC）を結ぶ道路整備等を実施することで産業・物流活動の支援を進め、物流の信頼性・効率性を高め、さらなる産業活性化を図る。													
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		5,148	A	5,148	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / （A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H26	H31	H34
1	南九州地域（西諸県地域、北薩始良地域）の製造品出荷額5,659億円（H26）から約5,907億円（H34）に増加（248億円（4.4％）の増加）			
	【宮崎県・鹿児島県 共通目標】連携する南九州地域（西諸県地域、北薩始良地域）における産業出荷額の増加 (南九州地域内の産業品出荷額の増加率) = (評価時点の産業出荷額 - H26の産業出荷額) / (H26の産業出荷額)	5659億円	5758億円	5907億円
2	西諸県地域（小林市、えびの市、高原町）における産業出荷額549億円（H26）から約582億円（H34）に増加（33億円（6.0％）の増加）			
	宮崎県西諸県地域（小林市、えびの市、高原町）の産業出荷額の増加 (西諸県地域内の製造品出荷額の増加率) = (評価時点の産業出荷額 - H26の産業出荷額) / (H26の産業出荷額)	549億円	563億円	582億円

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
○鹿児島県と連携。 ○その他事項については、備考-1に記載。												

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
広域連携事業	A11-001	道路	一般	宮崎県	直接	宮崎県	国道	改築	（国）４４７号・真幸工 区（３-A-１）	バイパス L=3.2km	えびの市	■	■	■	■	■	1,150		-	
	A11-002	道路	一般	宮崎県	直接	宮崎県	国道	改築	（国）２２１号・種子田 工区（３-A-２）	現道拡幅 L=0.8km	小林市	■						430		-
	A11-003	道路	一般	宮崎県	直接	宮崎県	国道	改築	（国）２２１号・茶屋平 工区（３-A-３）	現道拡幅 L=0.2km	えびの市	■						100		-
		H30年より道路事業へ変更																		
	A11-004	道路	一般	宮崎県	直接	宮崎県	国道	改築	（国）２２１号・亀尾原 工区（３-A-４）	現道拡幅 L=0.3km	小林市	■						43		-
	A11-005	道路	一般	宮崎県	直接	宮崎県	都道府 県道	改築	（主）京町小林線・京町 工区（３-A-５）	現道拡幅 L=0.8km	えびの市		■	■	■	■		545		-
	A11-006	道路	一般	宮崎県	直接	宮崎県	国道	修繕	（国）２２３号・高原工 区（３-A-６）	舗装補修 L=3.0km	高原町	■						380		-
		H30年より道路事業へ変更																		

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
広域連携事業	A11-007	道路	一般	宮崎県	直接	宮崎県	国道	修繕	（国）2 6 5 号・小林工区（3-A-7）	舗装補修 L=2.5km	小林市	■					350	-	
		H30年より道路事業へ変更																	
	A11-008	道路	一般	宮崎県	直接	宮崎県	国道	修繕	（国）2 6 8 号・えびの工区（3-A-8）	舗装補修 L=2.5km	えびの市	■					350	-	
		H30年より道路事業へ変更																	
	A11-009	道路	一般	宮崎県	直接	宮崎県	都道府県道	修繕	（主）えびの高原小田線・えびの工区（3-A-9）	舗装補修 L=2.5km	えびの市	■					300	-	
		H30年より道路事業へ変更																	
	A11-010	道路	一般	宮崎県	直接	宮崎県	都道府県道	修繕	（一）西麓小林線・小林工区（3-A-10）	舗装補修 L=2.5km	小林市	■					300	-	
		H30年より道路事業へ変更																	
	A11-011	道路	一般	宮崎県	直接	宮崎県	国道	修繕	（国）2 2 1 号・小林～えびの工区（3-A-11）	舗装補修 L=4.0km	えびの市	■					500	-	
		H30年より道路事業へ変更																	
	A11-012	道路	一般	宮崎県	直接	宮崎県	国道	修繕	（国）4 4 7 号・えびの工区（3-A-12）	舗装補修 L=2.5km	えびの市	■					350	-	
		H30年より道路事業へ変更																	

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
広域連携事業	A11-013	道路	一般	宮崎県	直接	宮崎県	都道府 県道	修繕	（主）小林えびの高原牧 園線・小林～えびの工区 （3-A-13）	舗装補修 L=3.0km	小林市	■					350		-	
		H30年より道路事業へ変更																		
											小計						5,148			
											合計						5,148			

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

宮崎県県土整備部にて評価を実施
学識経験者の意見聴取

事後評価の実施時期

令和7年3月

公表の方法

宮崎県ホームページに掲載

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況

・限られた予算の中、事業箇所により優先順位をつけ予算配分し道路整備を進めた事で、工業団地等の製造拠点へのアクセス性が向上し、産業出荷額が増加するなど産業活性化に寄与したと考えられる。
【本事業完成で発現される効果】
・A11-002：（国）221号 種子田工区の整備により線形不良区間を解消したことで、えびのICと宮崎フリーウェイ工業団地間のアクセス時間が約4分短縮され、物流効率化、産業活性化が図られた。
・A11-005：（主）京町小林線・京町工区の整備により線形不良区間を解消したことで、木材産出地から小林原木市場までのアクセス時間が約4分短縮され、物流効率化、産業活性化が図られた。

定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）

○特記事項（今後の方針等）

・未完了の事業については、本計画完了後も引き続き社会資本整備総合交付金等を活用し道路整備を進め本地域の産業活性化を図る。
【未完了事業】：A11-001

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	南九州地域（西諸県地域，北薩姶良地域）の製造品出荷額5,659億円（H26）から約5,907億円（H34）に増加（248億円（4.4％）の増加）		
	最 終 目標値	5907億円	宮崎県及び鹿児島県における製造出荷額は、各県における線形不良区間の解消したことで、インターチェンジ等と拠点施設間のアクセス向上が図られ、最終目標値に対して1448億円（25％）の増加となった。 出典：経済産業省 経済構造実態調査（令和5年）
	最 終 実績値	7355億円	
2	西諸県地域（小林市、えびの市、高原町）におけるの産業出荷額549億円（H26）から約582億円（H34）に増加（33億円（6.0％）の増加）		
	最 終 目標値	582億円	宮崎県における製造出荷額は、本整備計画における3事業のうち2事業が完了し、線形不良区間を解消したことで、インターチェンジ等と拠点施設間のアクセス向上が図られ、最終目標値に対して582億円（58％）の増加となった。 典：経済産業省 経済構造実態調査（令和5年）
	最 終 実績値	918億円	